

三気の家の理念及び療育方針

- ・設立理念:「社会の中で生きがいを持ち、豊かな人生を送れるように、ひとりの人として生きる力をつける」を設立理念とし「のんき・こんき・げんき」をスローガンに療育を行っています。
- ・療育方針:食事、排泄、衣服の着脱、挨拶などの基本的な生活習慣を確立させます。
- ・コミュニケーション能力を養うため、歩く、座る、見る、真似る、指示に合わせる、言葉の指導などを行います。持続力、適応力、体力をつけるために、リズム体操、集会、戸外活動、製作活動などをおこないます。

『就任のご挨拶』

新年度を迎え、児童発達支援センター三気の家の施設長に就任した古川昌美と申します。これまで療育の現場で培った経験を活かし、子ども一人ひとりが持っている可能性を伸ばしていけるよう努めてまいります。当園は、「社会の中で生きがいを持ち、豊かな人生を送れるように、一人の人として生きる力をつける」を設立理念とし、療育を行ってきました。この思いを形にするためにも、私たちは保護者の皆様と手を取り、共に子どもたちの成長を支えていくことを大切に考えています。子育ては喜びとともに困難も伴うものですが、お子様を中心に保護者の皆様に寄り添い、共に育ちあう関係を築いていくことが必要だと思います。これまで同様、『のんき・こんき・げんき』に、職員全員で心を合わせてまいります。関係機関の皆様、保護者の皆様、職員の皆様、そして大切な子どもたちへ。この新年度も共に歩んでいくことを心から楽しみにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

『新年度に向けて』

ご入園、進級おめでとうございます。この新しい一年が、皆さんにとって素晴らしいものとなりますように心から願っています。新しいお子さんや保護者の皆様におかれましては、新しい園生活に胸を膨らませる思いだけでなく不安や戸惑いなど様々な思いを抱かれていますのではないのでしょうか。進級した在園児たちは、新しいお友達との出会いにワクワクしていることでしょう。さて、新年度は新型コロナウイルスを含む感染症に対する対策はしつつも、コロナ禍以前に行っていた取り組みを再び計画しております。新年度も、子どもたちや保護者の皆様と共に子どもたちの育ちや将来を見据え、ワクワクドキドキの楽しみや期待を提供できる療育が提供出来るよう努めてまいります。皆様、本年度もよろしくお願いいたします。

地域療育等支援事業のお知らせ

- ◆ハッピークラブ ～4月3日(水)
- ◆ラッキークラブ① ～4月10日(水)
- ◆ラッキークラブ② ～4月17日(水)
- ◆ラッキークラブ③ ～4月24日(水)

ハッピー・ラッキー茶話会のお知らせ

日時…4/18(木) 10:00～12:00
 場所…清水公民館
 令和6年度のハッピー・ラッキーの保護者で茶話会を行います。是非ご参加下さい。



『お別れ遠足』

3月1日(金)、熊本市動植物園で在園児皆での最後イベント、お別れ遠足を行いました。当日はお天気にも恵まれ、4グループに分かれて動物園を歩いて回りました。動物を見たり、乗り物に乗りたり各グループ親子で楽しみました。グループ活動の後は、棒につり下がったお菓子をゲットする親子ゲームを行いました。お父さんお母さんに抱っこしてもらい、みんな無事にお菓子をもらうことが出来ました。その後、皆の大好きな“ジャンボリミッキー”と“小さなヒーロー”を音楽に合わせて楽しく踊りました。昼食では、卒園される保護者の皆さんや子どもたちに、三気での思い出を話して頂きながら、皆と一緒に食べました。菜の花満開の中、皆で食べたお弁当は格別でした。楽しい思い出がまた一つ増えた1日となりました。



卒園式

3月26日(火)に第30回卒園式を行い、年長10名が卒園しました。1月から本格的に卒園式の練習を始め、当日はお父さんやお母さんが見ている中で緊張したと思いますが、練習の成果を発揮でき、素晴らしい式でした。今年の卒園児発表では、『世界がひとつになるまで』をデスクベルと手話歌で発表しました。デスクベルも手話歌も、始めは部分的に模倣する所から始め、コツコツ練習を積み重ねていきました。皆の手話がそろった姿を見た時は、日々の頑張ってきた場面が思い出されて、嬉しさと別れの寂しさで胸がいっぱいになりました。かっこいい小学生になって、また会いに来て下さいね。



ありがとうございました

- ★卒園記念品 (トリップ・トラップ・チェアー、学習教材) …年長児保護者
- ★動作法訓練会、卒園児プレゼント…森芳輝様
- ★音楽療法…外村有佳子様
- ★お菓子…鳥居世奈様
- ★寄付(箱ティッシュ)…北里真一郎様
- ★廃品回収 収益金を寄付して頂きました…ひかりの会

★レオックさんから
 年長児にプレゼントとお花を
 頂きました

